

A……19

島原大門前
シタレヤナギ



西新屋敷中之町
(花屋町通大門角)
高さ 8.5m 枝張 6.5m
幹周 0.67m
やなぎ科 / 落葉高木

島原は、1641年に六条三筋町(東本願寺の北側付近)からこの地に移り、日本初の公認花街として発展しました。

大門は島原の東口にあり、門前のヤナギは「出口の柳」などの名で呼ばれ、幕末の女流歌人・太田垣蓮月(おおたがき・れんげつ)尼は、「島原のでぐちのやなぎをみて」と題した和歌「なつかしき やなぎのまゆの春風に なびくほかげや さとの夕ぐれ」を残しています。

A……20

市姫神社
イスノキ



朱雀分木町(花屋町通新千本西入)
高さ 4.6m 枝張 4.2m 幹周 0.65m
まんさく科 / 常緑高木

商売繁盛の社らしく、近くには中央市場があります。イスノキは京都では珍しい種類です。

A……21

西本願寺(阿弥陀堂前)
イチヨウ



堀川通七条上ル 門前町

高さ 16.5m 枝張 17.2m 幹周 3.97m
いちよう科 / 落葉高木

ずんぐりとして見えますが、幹は太く枝張りもみごとな大木です。

A……22

西本願寺
(御影堂前)
イチヨウ
京都市指定天然記念物

堀川通七条上ル
門前町

高さ 7.0m
枝張 24.0m
幹周 6.5m
いちよう科 / 落葉高木



1788年の天明の大火の際に、迫る炎を前にして勢いよく水を吹き出し、御影堂を延焼から防いだといわれ、「水吹イチヨウ」と呼ばれています。太い枝が水平に伸びているのが特徴。現在は御影堂の修復工事のために仮屋根で覆われていますが、大イチヨウの迫力は十分に伝わってきます。